

### 3 働く上での法律上のルール Q & A

私たちは、「健康で文化的な最低限度の生活を営む権利」を有しており（憲法第25条）、これを実現するため労働者に対して、いわゆる労働三権（勤労の権利、団結する権利、団体交渉その他の団体行動をする権利）を保障し、また、賃金、就業時間、休息その他の勤労条件に関する基準を法律で定めることとしています（憲法第27条、28条）。

この憲法の理念に基づいて制定された労働に関するたくさんの法律をひとまとめにして「労働法」と呼んでいます。その中には、労働基準法や労働組合法をはじめ、様々な法律が含まれています。以下、働くときのルールである「労働法」を順次Q & A形式で説明していきます。

**Q 1** 今度ある会社で仕事をする事になりました。仕事をする上で、会社と雇われる人との間ではどのような約束事（契約）が結ばれるのでしょうか。

————→ P. 8参照

**Q 2** 上司に言われて就業時間を超え、遅くまで残業しました。しかし給料が同じです。なぜか納得がいかないのですが……。

————→ P. 10参照

**Q 3** すごく疲れているのですが、給料に影響が出ると困るので頑張ろうと思っています。しかし、こんなムリをしなくてはいけないのでしょうか。

————→ P. 12参照

**Q 4** 家の近くの小売店でアルバイトすることになりました。時間給が800円ということですが、法律で最低賃金というものが決まっていると聞きましたが、この場合、最低賃金を下回らないのでしょうか。

————→ P. 15参照

**Q 5** ある日突然「辞めてくれ」と言われました。迷惑をかけるような働き方をしているようには思えません。命令には従わないといけないのでしょうか。

————→ P. 16参照

**Q 6** 就職活動の採用面接にて、家族の構成や職業などを聞かれました。この場合、答えなければいけないのでしょうか。

————→ P. 19参照

**Q 7** 労働条件の維持改善を図るために結成される労働組合とは、どのようなものですか。

————→ P. 21参照

**Q 8** ある人にいやらしい冗談を言われたり、仕事に関係のない女性の写真などが職場に貼られたりして不愉快な思いをしています。我慢しなくてはいけないのでしょうか。

————→ P. 22参照

**Q 9** 育児休業を取りたいのですが、男性でも取れるのでしょうか。

————→ P. 24参照



Q10 現在、人材登録をしているA社から派遣され、B社で受付・案内業務に従事しています。私は、どことどんな労働契約を結んでいることになるのでしょうか。

——→ P. 28参照

Q11 最近、職場のメンタルヘルス対策ということを耳にしますが、どんなことが行われているのでしょうか。

——→ P. 32参照

Q12 職場で同僚からいやがらせを受けています。どこに相談したらよいのでしょうか。

——→ P. 33参照

Q13 病気やケガをしたとき、会社が倒産してしまったときなどの社会保険制度には、どんなものがあるのでしょうか。

——→ P. 34参照



Q14 キャリアアップしたいです。技能を修得するには、どんな方法がありますか。

——→ P. 36参照

Q15 働いているうちにいろいろ疑問が出てきたときには、どこに相談したらよいのでしょうか。

——→ P. 43参照

## コラム1

### 年齢にとらわれない募集・採用

- ① 労働者の募集や採用の際には、原則として年齢を不問としなければなりません。
- ② 例外的に年齢制限を行うことが認められる場合は、厚生労働省令で定められている事由（例外事由）に該当する必要があります。
- ③ この年齢制限の禁止は、公共職業安定所を利用する場合だけではなく、民間の職業紹介事業者、求人広告などを通じて募集・採用する場合や、事業主によって直接募集・採用がなされている場合も適用されます。
- ④ パート、アルバイト、派遣など雇用形態を問わず、適用されます。
- ⑤ 事業主は職務に適合する労働者であるかどうかを、年齢にとらわれず、個々人の適性、能力などによって判断することが求められており、求人に当たっては、求める労働者の適性、能力、経験等を詳細に記載する必要があります。それにより、労働者側も、募集の内容を的確に判断ができ、応募するかどうかの判断が容易となることで、求人と求職のミスマッチが解消されます。